

令和元年度第1回岐阜県入札監視委員会 議事要旨

1. 日時：令和元年8月30日（金）13：30～16：25

2. 場所：岐阜県水産会館 2階中会議室

3. 出席者

(委員)

一川 哲志 氏		(岐阜新聞社編集局論説委員)
小田切 清子 氏		(税理士)
栗本 理花 氏	《副委員長》	(日本労働組合総連合会岐阜県連合会事務局長)
沢田 和秀 氏		(岐阜大学工学部教授)
豊田 千里 氏		(岐阜家庭裁判所家事調停委員)
山田 伝夫 氏		(中日新聞岐阜支社長)
横田 直和 氏	《委員長》	(関西大学法学部教授)

4. 議題

(1) 副委員長指名

(2) 県発注建設工事、資格停止の運用状況等について

(3) 抽出事案に関する説明・審議

- ・公共 防災・安全交付金（災害防除）（国補正）（翌債）（一）下山名丸線
- ・公共 防災・安全交付金（通常砂防事業）（国補正分）（翌債）
- ・県営中山間地域総合整備事業 瑞浪中部地区 足又排水路・下足又第2排水路工事
- ・御嵩兼山増圧ポンプ場非常用発電設備緊急修繕工事
- ・経営体育成基盤整備事業 栗原地区 第19期工事
- ・県営湛水防除事業 逆川2期地区 導水路第1号工事
- ・長森南交番新築工事
- ・公共 防災・安全交付金事業（仮称）新大矢田トンネル工事

5. 議事要旨

(1) 県発注建設工事、資格停止の運用状況等について

(委員)

知事直轄が件数として挙がっていませんが、これまでにありましたか。また、どういう部署が知事直轄にあたるのですか。

(事務局)

知事直轄とは秘書課、広報課を指します。過去に実績があったかは、把握できていません。

(委員)

それらの課が直接発注することはありますか。

(事務局)

ほぼありません。

(委員)

指名競争入札が多いですが、災害復旧以外に多い理由はありますか。

(事務局)

原則で、1,000万円以上は一般競争入札で発注する方針となっておりますが、災害復旧の他にも補正予算の執行については、年度の半ばを超えていることもあって、迅速に対応するというので、1,000万円を超えても指名競争入札の案件としております。昨年度は7月豪雨の影響もあると考えられます。

(委員)

予定価格は事前公表ですか。

(事務局)

8,000万円以上の総合評価落札方式については事後公表としていますが、それ以外は全て事前公表です。

(委員)

(株)中京スポーツ施設の指名停止についてですが、逮捕された後不起訴になったと思うのですが。

(事務局)

不起訴になった時点で、指名停止を解除しています。

(委員)

ICカードに関する指名停止ですが、代表取締役が変わった際には、事業者の方から連絡し、新しいカードを交付し直す手続きをする必要があったにも関わらず、そのまま使ってしまったから指名停止になったのですね。ICカードは事業者宛てのものは作れないのですか。

(事務局)

ICカードそのものが代表者名義のものなので、会社としてのものは作れません。電子入札システムの要領にも明記してあります。

(委員)

予定価格に対する低入札調査基準価格の割合が高い案件があるのですが。

(事務局)

低入札調査基準価格の上限は予定価格の90%としておりますので、入力ミスと考えられます。調べて後日報告します。(後日調べたところ、本来税込金額を記載すべきところを税抜金額で記載してしまったため、割合が90%を超えた結果となっていたことが判明しました。税込金額にすれば、予定価格に対する低入札調査基準価格の割合が90%となり、要領上問題ありません。)

(2) 抽出事案に関する説明・審議について

【公共 防災・安全交付金（災害防除）（国補正）（翌債）（一）下山名丸線】 <下呂土木事務所>

(委員)

「翌債」とは、債務負担行為でやることと理解してよろしいですか。

(説明者)

そのとおりです。

(委員)

県内にA等級業者は何者ありますか。

(事務局)

確認のうえ、後ほど報告します。

(委員)

ずいぶんたくさんあるのですか。

(事務局)

それぞれの業種で等級があります。

(委員)

同じ会社でもそれぞれの業種で等級があるということですか。

(事務局)

はい。

(委員)

業者選定について、県内と飛騨圏域のA等級業者から選定していますが、選定理由を教えてください。

(説明者)

当工事の発注は本年3月末に行っておりますが、当時は、昨年7月豪雨により当管内で国、県、市それぞれが多くの災害復旧工事等を発注していたため、管内の技術者が極めて不足しておりました。そうした状況もあり、幅広く、県内に本社を有する「とび・土工」の業者から、法面工の技術力のある業者を選定しました。

(委員)

指名する前に業者に対し、打診はするのですか。

(説明者)

しません。

(委員)

管内とはどこを指しますか。

(説明者)

下呂市一円です。

(委員)

下呂管内には一者しかいなかったのですか。

(説明者)

A等級のとび・土工業者は17者いるのですが、法面工の技術力のある業者は下呂管内に一者しかいなかったということです。

(委員)

点在する2箇所を施工箇所としていますが、その間の区間については、施工の必要はありませんか。

(説明者)

当該工事の2箇所は、要対策箇所などがあるところを工事対象にしており、間の区間は今後の施工を予定しています。

(委員)

落札の理由としては、地域の事情に精通していることが大きな要素だったのでしょうか。

(説明者)

それもありますが、技術者に比較的余裕があったことも一因であると考えています。

(委員)

業者は誰がどうやって選定するのですか。

(説明者)

工事担当課長が名簿から選定して原案を作成し、当事務所の建設工事入札参加資格部会に諮り決定します。

(委員)

選定する数が12者と若干多いような気がするのですが、どうですか。

(説明者)

選定する業者数は、要領で決まっています。

(委員)

「設置」と「再設置」との言葉の違いは何ですか。また、ポケット式落石防護網を使い回しているところと新しいものを使うところとは、どういう区別をしているのですか。

(説明者)

「設置」とは、既設の落石防護網を撤去し、新たに落石防護網を新設する場合を指し、「再設置」とは、既設の落石防護網を撤去したのち当該防護網を再設置する場合を指します。設計時には再利用することを考えていましたが、想定以上の損傷等が見受けられたことから、基本的に全て撤去して新設しています。

【公共 防災・安全交付金（通常砂防事業）（国補正分）（翌債）】 <多治見土木事務所
>

(委員)

国の砂防と県の砂防とでは、どこで棲み分けしているのですか。

(説明者)

国は流域砂防という考え方で、例えば木曾川で土砂が下流に流れてきて川底に土砂が溜まるのを防止するために、大きな砂防堰堤を上流側で作っています。一方、県では地先砂防という考え方で、例えば人家や病院がある小さな谷一つ一つで土石流を防止するというように、大きく目的が異なります。今回は、県立多治見病院に土石流の被害が及ばないよう、県が施工するものです。

(委員)

河川の1級、2級とは関係あるのですか。

(説明者)

関係ありません。

(委員)

その谷には今までなかったのですか。

(説明者)

砂防設備はありませんでした。平成23年に多治見市内で水害がおきて、県立多治見病院、多治見駅で浸水被害が起きましたが、その時の豪雨でこの谷の一部分から土砂が若干出ました。それを契機に検討してきまして、抜本的な対策が必要ということで今回の事業に着手したという経緯があります。

【県営中山間地域総合整備事業 瑞浪中部地区 足又排水路・下足又第2排水路工事】 <東濃農林事務所>

(委員)

旧中山道ですか。

(説明者)

はい。

(委員)

5ページ目が下足又排水路ですか。

(説明者)

はい。

(委員)

こういう工事は今後たくさん出てきそうですか。

(説明者)

高度経済成長期の構造物は老朽化が進んでおり、今後も多くの改修が見込まれます。

(委員)

水路延長500m程度で3,000万円ぐらいですが、高くないでしょうか。

(説明者)

工事の諸経費が非常に高く、直接工事に対して90%~100%の割合です。

排水路は、ほ場の奥にあり、道路側ではないことから、道路から排水路までの敷鉄板の仮設費用がかかる上、ほ場での表土剥ぎや戻し作業が伴うため、高額となります。また、排水

路工事であることから、工事期間中は水替えなどの仮設費もかかるため、工事費が高くなります。

(委員)

B等級業者を選定する理由は何ですか。

(説明者)

「岐阜県建設工事指名競争入札参加者選定要領」に金額によって定められています。

(委員)

岐阜県建設工事指名競争入札参加者選定要領 第3 2選定基準 ただし書きには、直近の上位又は下位の等級業者とあるが、下位ではなく上位から選定した理由は何ですか。

(説明者)

C等級になると品質も下がる懸念があるため、B等級工事の品質や企業の施工能力を求め、下位でなく上位等級から選定することとしました。

【御嵩兼山増圧ポンプ場非常用発電設備緊急修繕工事】 <東部広域水道事務所>

(委員)

故障はどうやって見つかったのですか。

(説明者)

県の職員及び施設の維持管理をしている業務員による定期点検で異常を発見し、その後、電気設備点検業務を受託している専門業者による調査で故障を確認したものです。

(委員)

見積り及び契約審査会、契約日が同日となっていますが、このとおりで間違いはないですか。

(説明者)

緊急対応で早急に工事が実施できるように、同日で実施しています。

(委員)

契約審査会の時点で、見積りがあったのですか。

(説明者)

修繕工事に必要な、部品等の単価の見積りを徴収し、労務費や諸経費など県の積算基準により算出した設計額にて契約審査会に諮り、その後、同日中に業者へ県作成の仕様書を元に見積入札を行いました。

(委員)

最終的に減額の変更契約がされていますが、なぜですか。

(説明者)

当初見込んでいた工事内容から施工で変更があったので、変更設計をした結果、記載のとおり減額変更となりました。

(委員)

緊急指定業者はどのように決定しているのですか。

(説明者)

毎年度始めに、24時間緊急対応可能な機器メーカー、メーカーメンテナンス会社、代理店等を緊急指定業者として定めています。

(委員)

取り決めに金は発生していますか。

(説明者)

していません。

(委員)

壊れるのを予防するための修繕であれば、競争入札を行うのですか。

(説明者)

予防保全として計画的に行う、単純な部品交換のような工事であって、県内業者でも施工可能と思われる工事であれば、競争入札を前提として実施しますが、一者応札となることもあります。

(委員)

予防保全工事は実施したことがありますか。

(説明者)

あります。予防保全工事は、機器が故障して動かなくなる前に摩耗部品等を交換する工事で、これまでも定期的に実施して保守管理をしてきています。

(委員)

発電機の故障内容の詳細はどのようなものでしたか。

(説明者)

詳細図にあるエンジン内部のタービン翼が接触していたため、エンジン部及び動力伝達をするための部品であるシャフト、軸受等を取り替えたものです。

【経営体育成基盤整備事業 栗原地区 第19期工事】 <西濃農林事務所>

(委員)

B等級業者も指名したとのことですが、A等級業者のみで必要な参加業者数を満たせなかったのですか。

(説明者)

発注に当たっては補正予算の主旨を鑑み、地元業者、中小業者を優先することを考慮したため、「岐阜県建設工事指名競争入札参加者選定要領」に従い、1/2以内で下位のB等級業者を選定したものです。

(事務局)

前半でご質問があった、等級ごとの業者の数について、県の入札参加資格者名簿に登載されている業者になりますが、土木一式工事は全体で1,541者、この内訳は、A等級業者が552、B等級業者が427、C等級業者が562になります。建築一式工事は全体で746者、この内訳はA等級業者が453、B等級業者が105、C等級業者が188になり

ます。法面工事は全体で1, 223者、この内訳はA等級業者が616、B等級業者が607になります。

(委員)

補正予算対応の案件は、年度内契約が必要なため指名競争入札を行うとの説明ですが、もし一般競争入札で行った場合、どれくらい余分に時間がかかりますか。

(説明者)

業者から提出があった書類の審査に1週間以上の期間が必要となります。

(委員)

それだと年度内には間に合いませんね。

(説明者)

年度内契約は困難と判断しました。

(委員)

今回の施工箇所は、もともと「田」なのですか。

(説明者)

もともと「農地」だった地区です。

(委員)

工事名に「経営体育成」とあるが、経営体の経営が上手くいくように事業を行っているということですか。

(説明者)

農地が小さいと小さな農業機械しか入れず、大型機械を使用している担い手が農業をやりにくいため、農地の区画を大きくするものです。これにより農地の集約が進み、当該地域の農業経営を農業法人等が受託することにより、結果的に農業の担い手の確保・育成につながるものと考えています。

(委員)

担い手は決まっていないということですか。

(説明者)

整備後の担い手は決まっています。

(委員)

3ページの平面図は、完成後のものですか。

(説明者)

設計時の図面です。

(委員)

ほ場整備は、すでに終わっていると思っていましたが。

(説明者)

昭和終わりに、一旦ほ場整備を行った地域ではありますが、農地の区画の大規模化を行う事業として実施しています。

(委員)

浸水する箇所ではありませんか。

(説明者)

並行して河川改修も行われています。

(委員)

全体の計画規模はどのくらいですか。また、全体の進捗率はどのくらいですか。

(説明者)

全体計画は69haです。進捗率は9割程度です。

(委員)

入札結果について、落札率が99%であり、入札価格の差が50万円とほとんど差がありませんが、これはどのような理由でしょうか。

(説明者)

ほ場整備のように、土を触る工事というのは経費的にロスが多くなるので、業者もそれを考慮のうえ、利益が出るように、高めの価格で応札してきたのではないかと考えます。

また、予定価格も開示しており、見積時には同じような工事を参考にされることから、金額的にも差異が少ない結果となったものと思われま

(委員)

この工事は「19期工事」ということですが、それぞれ異なる業者が受注することもあるのでしょうか。

(説明者)

これまでに複数の業者が受注しています。なお、今回の受注者は同地区の工事で4回受注しています。

(委員)

だいたい1業者あたり4回ずつくらいですか。

(説明者)

様々です。

(委員)

A等級の工事にB等級業者が参加することは問題ないのでしょうか。

(説明者)

今回の指名競争入札に当たっては、垂井町、関ヶ原町にはA等級の業者が少ないため、「岐阜県建設工事指名競争入札参加者選定要領」に従って、B等級業者を必要数の1/2以内で選定したものです。

なお、一般競争入札の場合は、公告で入札参加資格要件を定めているので、総合点数で縛られるため、結果的に参加者の等級は一定となります。

【県営湛水防除事業 逆川2期地区 導水路第1号工事】 <岐阜農林事務所>

(委員)

材料調達の考え方の違いとはどういうことですか。

(説明者)

業者ごとに得手不得手があり、どこから材料を調達するかは業者によって違うため、高いところから購入をする場合などは、予定価格を超えてしまったのではないかと考えられます。

(委員)

材料というのは、具体的にはボックスカルバートのことですか。

(説明者)

ボックスカルバートなどの構造物もそうですが、仮設、いわゆる鋼矢板など、リース品もあるので、協力会社で調達するなど、調達する場所によって価格が違います。

(委員)

どの部分で予定価格をオーバーしたかは、積算内訳書を見れば分かりますか。

(説明者)

電子入札の際に積算内訳書のデータを添付して入札しますが、確認するのは落札候補者の積算内訳書だけで、それ以外の積算内訳書は確認を必要としていません。

(委員)

予定価格を3者がオーバーしているので、予定価格が低すぎたのではないかということを検証されずに、落札候補者の積算内訳書だけを確認するのですか。

(説明者)

はい。公告(個別事項)にもありますように、入札参加資格の施工実績に関する条件で、業者の実績として予定価格の5割の設定をしているので、逆算すればある程度は業者も予定価格を推測できます。あとは業者が積算して、結果として予定価格より高かったということです。

(委員)

入札公告を見れば、それぞれがある程度積算できるのですね。

(説明者)

仕様書を見れば、図面などもついていますので、積算可能です。

(委員)

全者が予定価格を超過していれば、どこか積算が違っているのではと思いますが、1者でも下回っていれば問題ないということですね。

【長森南交番新築工事】 <警察本部会計課、装備施設課>

(委員)

業者がなかなか応札してくれない理由についてはどう考えていますか。

(説明者)

土木工事と違い、建築工事では民間工事に人がとられています。技術者も不足しており、公共工事では技術者の配置を求められていることや、書類の作成が多いことから敬遠されがちだと認識しています。

(委員)

何か突破口となる対策はありますか。

(説明者)

技術者の専任配置の条件緩和、建設業における働き方改革などを考慮した工期の設定などを検討しています。

(委員)

技術者の専任配置の緩和については難しいと思うのですが。

(説明者)

工期については、現在は単年度予算という位置づけですが、複数年も検討していきたいと考えています。

(委員)

「不着」とはどういうものですか。

(説明者)

辞退されることもなく、入札期間に入札されなかった場合が「不着」となります。

(委員)

ペナルティーはないのですか。

(説明者)

ありません。

(委員)

公共工事の何かに不調の原因があるのではないのでしょうか。今から技術者不足の状況が何とかなるとは思えないので、県レベルで調査・検討をする必要があると思います。

(事務局)

確かに建築工事では入札不調が多いです。技術者不足が大きな原因として考えられる中で、対策として、フレックス工期、落札してから工事に着手するまでにある程度余裕期間をもたせて、着手する時期を業者が選択できる制度を採用しています。そうすると、入札時には配置予定技術者が他工事と工期的に重複していても、他工事が終了する時期に当該工事の着手を決定するため、予定していた技術者を配置することが可能となるといった具合に工夫できます。また、発注時に債務負担行為の予算をとり、あらかじめ年度を跨いだ工期で発注するといった取り組みも行っています。最近の話だと、いわゆる建設業担い手3法に基づき、1つ新たな資格を作り、その資格を有している人をつければ、その上の立場の技術者は2つの現場を兼務できるようにするといった対策など、国でも様々な対策が検討されているところではあります。

【公共 防災・安全交付金事業 (仮称) 新大矢田トンネル工事】 <道路建設課>

(委員)

入札参加資格を3者JVとした理由は何ですか。

(説明者)

「岐阜県建設工事一般競争入札発注基準」のトンネル工事の基準に準拠しています。

(委員)

新しいトンネルを整備した後、古いトンネルは廃止するのですか。

(説明者)

現在は県が管理しているが、地元的美濃市に管理を移管する予定です。美濃市では全国的な自転車レースも開催されており、現在もそのコースとして使用されているため、廃止ではなく維持管理されていくのではないかと思います。

(委員)

新しいトンネルが通れるようになるのはいつごろですか。

(説明者)

現在のトンネル工事の工期は令和4年度末としておりますが、それから防災設備の工事等を行うため、通れるようになるのはさらに2～3年後となります。

(委員)

だいたい令和7年度くらいですか。

(説明者)

地山の岩質によって、異常な出水などがあると工事の中断があり、トンネル工事の進捗も変わるため、時期の断言はできないが、順調に進めばその程度の時期の供用も考えられます。

(委員)

このトンネルの交通量はどの程度ですか。

(説明者)

現在の交通量は1日3,300台ほどですが、令和9年頃には1日3,800台ほどを想定しています。

(委員)

トンネル工事で発生した土はどこへ持っていくのですか。

(説明者)

県や美濃市が所有している土地へ搬出し、有効活用する予定です。

【全体について】

(委員長)

審議案件は以上ですが、何か質問などありますか。

(委員)

入札不調への対策は、県全体で考えるのですか。毎回県警が審議対象としてあがってきますが。

(委員)

県警も対策を考えていると聞いています。一般的に入札不調は起きています。

(事務局)

昨年度は全体の3%でした。岐阜県は該当しないのですが、最近は新聞報道にもあるように、東京オリンピック・パラリンピックの影響で、関東方面に人が流れてしまっていて、静岡県東部では影響を受けていると聞いています。技術者の数が足りないというのは変わらないので、その状況で大量の工事が発注されても捌き切れないので、発注時期を年間通して平準化する、技術者を上手く組み合わせた発注方式を使う、債務負担行為を使い年度を跨いだ工期設定をするといった工夫をしながら進めています。

(委員長)

本委員会は、報告の内容又は審議した対象工事について不適切な点又は改善すべき点があると認めた場合において、必要な範囲で知事に対して意見の具申をできることとなっています。今回は知事へ具申するほどの事項は特にないと思われるため、知事への意見は特になしということによろしいでしょうか。

(出席委員全員)

異議なし。